

研究会の集録

「地球回転」研究会の集録ができました。

この研究会は、昨年11月20日から三日間、栃木県・那須町で開かれ、参加者は緯度観測所、東京天文台、国土地理院、水路部などから総勢45名ありました。

内容は、地球の極運動・自転運動、及び測地観測の問題に亘っています。集録論文数22です。

御希望の方は、新美幸夫 (〒181 三鷹市大沢 東京天文台) に御連絡下さい。一部200円でおわけいたします。

~~~~~  
 雑 報  
 ~~~~~

新彗星 Heck-Sause (1973 a) の発見

フランスのアンドレ・エック (André Heck) とジェラルド・ソース (Gerard Sause) は、オート・プロバンス天文台の口径60cm, F/3.5のシュミット・カメラで1月11日(世界時)に撮影した乾板上に光度12等の新彗星を発見した。仙台天文台では1月4日(世界時)に撮影した乾板上にこの彗星が写っていることを知り、IAU天文電報中央局に報告した。Heck と Sause による発見位置と、仙台天文台の観測位置は次の通りである。

	U.T.	$\alpha(1950.0)$	δ	m_1	観測者
1973年 1月	4.8153	12 ^h 34 ^m 33 ^s .9	+10°00'28"	12	仙台
	11.05278	12 29.5	+13 22	12	Heck Sause
	12.00069	12 29.3	+13 30	12	Heck

その後の観測からスミソニアン天文台のマースデンは次のような初期放物線軌道を求めている。

$$T=1972年10月5.253日(U.T.)$$

$$q=2.50983A.U.$$

$$\omega=346^{\circ}149$$

$$\Omega=175^{\circ}171$$

$$i=138^{\circ}626$$

$$\left. \begin{array}{l} \\ \\ \end{array} \right\} 1950.0$$

(香西洋樹)

GK Per の増光 (Nova Per 1901)

1973年1月19日にスミソニアン天文台から東京天文台に届いた天文電報によると、アメリカのペルティエ (Peltier) が1973年1月18.04日(世界時)に、GK Per が眼視光度12.0等に増光しているのを発見した。

このGK Perは1901年2月21日にイギリスのアンダーソン (Anderson) によって3等級の星として発見され、2月23日には0.2等の極大光度に達し、11年後の1912年には爆発前の13等級に戻ったことが観測されている。現在では爆発前の光度13等を中心に約3等級の

間を不規則な周期で変光していて、この星を中心にしてガスが取り囲むようにあることが知られている。東京天文台では19日の夜から堂平観測所で91cm反射鏡による観測を始め、下記のデータを得ることができた。なお名古屋市の石原俊洋氏は14cm反射鏡による眼視観測で、19日の増光に気づき、いち早く東京天文台に連絡して来られた。

GK Per の位置と光度の観測値は次の通りである。

	$\alpha=3^h24^m24^s.1$	$\delta=+43^{\circ}33'40''$	1900.0			
	U.T.	V	B-V	U-B	観測者	
1973年 1月	18.04日	12.0			Peltier	
	19.41	11.7			石原	
	19.50	12			石原	
	19.56	12.0 ± 0.1	+0.6 ± 0.1	-0.52~ -0.53	東京 天文台	
1966年 10月	21	13.29	+0.94	-0.62	"	
1966年 12月	30	13.1	+0.70	-0.64	"	
1971年 10月	27	13.24	+1.00	-0.32	"	

1966年、1971年の観測値は通常の時の光度を示すものとして参考のために記した。

(香西洋樹)

Gehrels 彗星 (1973 d) の発見

アメリカのゲヘル (Tom Gehrels) はパロマー天文台の122cmシュミット・カメラで次の位置に新彗星を発見した。

1973	U.T.	$\alpha(1950.0)$	δ	m_1
2月	8.29308	8 ^h 07 ^m 5	+22°05'	19
2月	9.29759	8 06.6	+22 02	19

(香西洋樹)

~~~~~  
 学会だより  
 ~~~~~

春季年会について

今春の年会は5月15日(火)から18日(金)までの4日間、東大理学部2号館(本郷構内・赤門脇)講堂で開催の予定です。

講演申込みは「〒181 三鷹市大沢 東京天文台 成相恭二」あて、3月22日(木)までに必着するよう、規定の申込み用紙を用いてお送り下さい。なお自分の講演の日時を早目に知りたい方は、申込みの際に返信用ハガキを同封されれば、プログラム決定しだいお知らせします。

申込み用紙は、下記の各支部理事あて、返信用20円

切手をそえて御請求下さい。

また講演申込み者で、出張旅費の補助を希望される方は、支部理事に相談の上、3月22日までに「東京天文台内日本天文学会理事長」あてに申込んで下さい。ただし47年度会費まで納入済みの方で、原則として連名の場合でもスピーカーであること、正式の給与をうけていない人（たとえば大学院生など）に限ります。

記

北海道：坂下志郎：〒060 札幌市北八条西五丁目
北海道大学理学部物理学教室

水 沢：角田忠一：〒023 水沢市星ヶ丘町 緯度観測所
仙 台：須田和男：〒980 仙台市片平 2-1-1
東北大学理学部天文教室
東 京：成相恭二：〒181 三鷹市大沢 東京天文台
名古屋：鰐目信三：〒442 豊川市市町下中野 68
名古屋大学空電研究所
京 都：大谷 浩：〒606 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部宇宙物理学教室
中国・四国：三沢邦彦：〒766 高松市幸町 121
香川大学教育学部

賛 助 会 員 名 簿

旭光学工業株式会社	鈴木幸三郎	住友化学工業株式会社	大谷 一 雄
朝日新聞社 科学部	梅田敏郎	誠文堂新光社	小川誠一郎
アジア航測株式会社	駒村雄三郎	ソニー株式会社	井 深 大
アストロ光学工業株式会社	滝 沢 磐	谷村株式会社新興製作所	谷 村 昌 子
岩井計算センター	岩井英夫	地 人 書 館	上 条 勇
岩 波 書 店	岩波雄二郎	天 文 博 物 館	
宇宙開発事業団	島 秀 雄	五島プラネタリウム	五 島 昇
カールツァイス株式会社	波木泰雄	東京精密測器株式会社	池 辺 常 刀
関西電力株式会社	芦原義重	東京電力株式会社	木川田一隆
関東電気工業株式会社	関井忠夫	東北電力株式会社	若 林 彊
九州電力株式会社	赤羽善治	ナ ル ミ 商 会	村 上 俊 男
啓文堂松本印刷	松本 喬	日 米 商 会	高野高之
恒星社厚生閣	志賀正路	日本光学工業株式会社	杉 豊
甲南カメラ研究所	西村中子	丸善株式会社	司 忠
五藤光学研究所	五藤斉三	三鷹光器株式会社	中村義一
金光教本部 教庁	金光鑑太郎	三菱電機株式会社	
三 省 堂	亀井 要	電子営業第二部	伊 東 祐 義
島田理化学工業株式会社	実 武 夫	ミノルタカメラ株式会社	田 嶋 一 雄
新電子工業株式会社	山本和一	八洲測量株式会社	西村正紀

1973年1月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	3,	21	6	3,	75	11	5,	28	16	2,	7	21	4,	31	26	1,	11
2	3,	23	7	—,	—	12	5,	27	17	2,	12	22	—,	—	27	1,	9
3	5,	56	8	—,	—	13	3,	13	18	—,	—	23	6,	32	28	1,	2
4	7,	45	9	4,	42	14	2,	5	19	4,	22	24	7,	33	29	1,	1
5	5,	68	10	5,	41	15	—,	—	20	3,	24	25	5,	21	30	1,	4
(相対数月平均値: 42.8)																	
31																	
1, 2																	

昭和48年2月20日	編集兼発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	森 本 雅 樹
印刷発行	印刷所	〒112 東京都文京区水道2-7-5	啓文堂松本印刷
定価 175 円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話武蔵野 31局 (0422-31) 1359	振替口座東京 1 3 5 9 5